

西来寺報

令和元年 秋
第三十五号

お釈迦さまのこと

今年の西来寺報恩講のお話しは、ひろさちや氏が「お釈迦さまの言ったこと」がテーマですので、今回から仏教の開祖お釈迦さまについて書いていきます。

お釈迦様は（諸説ありますが）紀元前四百六十三〜前三百八十三年の方で釈迦族の王子として生まれました。名はゴータマ・シッダールタといい、ゴータマは「最上の牛」、シッダールタは「目的を達した者」と云う意味になります。漢字では瞿曇悉達多（くどんしつだつた）と表記されます。釈迦族の聖者として「釈迦牟尼世尊」と呼ばれ、略して「釋尊」とも云われています。伝えによりますと釈迦族の中心地カピラバストウで父スッドーナ（浄飯王）、母マヤー（麻耶夫人）のもと長男として生まれました。生誕の地は現ネパール領のルンビニ



今年も咲いてくれました。西来寺のハスの花開きははじめの花托は薄い緑色。よい香りがします。

園とされています。生後すぐに右手をあげて七歩あるいて「天上天下唯我独尊」と語ったそうです。七歩というのは苦しみの六道超え、唯我独尊ということでは天にも地にもこの命尊いということ。お釈迦様は何不足ない生活をしていましたが、あるとき城の外の門にでましたが、東の門を出たとき老人にあい、南の門を出たとき病人にあい、西の門を出たとき葬列を見ました。お釈迦さまは自分も生きている限り、いずれはそういうことになる身なのだという

● 秋のお彼岸

9月20日（金）〜26日（木）
本堂受付は22日（日）まで

ことを悟り、最期に北の門を出たとき、沙門（出家者）に会います。その気高き姿をご覧になり、出家の意思を固められた様です。お釈迦様はこの時二十九歳でした。すでに結婚をし妃の名前はヤシヨダラー（耶輸陀羅）で子供も儲けておりました。出家直前に生まれまして出家の障害という意味でラーフラ（羅睺羅）と名づけられました。ある夜に愛馬に乗りお城を出ていったそうです。これ以降お釈迦様の苦行の日々が続いていきます。

報恩講 ひろさちや先生 「お釈迦さまの 言ったこと」

「お釈迦さまの
言ったこと」

報恩講演「世界の宗教」「お念仏」「日本の宗教」、そしてひろ先生四年目の今年は「お釈迦さまの言ったこと」です。

お釈迦様（ゴータマ・ブッダ）については、御住職が書いてい

● 令和元年 報恩講

10月28日（月）

法要開始 午後1時

講演開始 午後2時15分

講演者 ひろさちや氏

講題 『お釈迦さまの言ったこと』



撮影 / 児玉 成一

らつしやるので重複を避けませんが、二十九歳で王子の身分、妻子を捨てて出家し、六年とも七年とも言われる修行の後、悟りに到った方で、紀元前5世紀前後（諸説あります）にインドに実在した人物です。「一切皆苦」はお釈迦様の言葉といわれています。つまり「この世は苦だ」と言うことです。そしてどう生きべきかを人々に説いて八十歳で亡くなります。亡くなる前に故郷のルンビニを目指して旅に出ます。その途中大地をふり返り「この世は美し

いものだし、人間の命は甘美なものだ」と言ったらとされています。

私は最初この言葉を聞いて驚きました。「この世は苦だ」と言っていたのなら亡くなる時「やっとこの世から離れられる。」と言ってもいいのではないかと思っただけです。でもそれは違いました。お釈迦様は「苦」の世の中を生きるべき道「法」を明らかにして、それが多くの人々に利益、幸福をもたらしたので。そしてそれが「この世は美しい」と

お待ちせしました！

本堂に冷房が入りました

西来寺の本堂は山の斜面に建っているため涼しい風が吹き抜け、扇風機だけでも余り困りませんでした。「本堂で昼寝がしたい」という門徒さんまでいたそうです。でもそれは昔の話。ここ数年本堂に暑い！

法事の前に「ごめんさい。本堂にはクーラーが無いんです。」と私が門徒さんに言うと「クーラー無いんですか!？」とショックを隠しきれない方も多々いらっしやいました。住職は涼しげな風ですが着物を重ね

いうこの世への恩愛の言葉となったのでしょうか。

「一切の生きとし生けるものは、幸福であれ、安穩であれ、安樂であれ。」これもお釈迦様の言葉です。

・・・力不足でうまくまとまりませんが、これが仏教の始まりです。

皆さん、あとはひろ先生にバッチリ聞きましょう！今年の報恩講へのご参加お待ちしております！私にも聞かせて!!

(ボランティア熱烈募集中です)

着しているため、もはや湯気がでるような本物の苦行状態で、下の下の衣まで汗がびっしょりでした。

・・・と言うことで、特大クーラーが二台入りました！高さ約1.8メートル。大きいので床置き設置工事、消費電力も高いため電力を別に引かなくてはならず、とても大変でした。しかし、大きいだけあってパワフル！音は余り気になりません。

これからは真夏の法事も大丈夫。住職は本堂にほっとしています。でも一番喜んでるのは、本堂にずっと立っていらっしやるご本尊様だったりして・・・

仏教とヨーガ

in 西来寺本堂

秋から寺ヨガが始まります。寺とヨーガの関係ってありそうでなさそうによく分からないですよ。実はヨーガはインダス文明にまでさかのぼれる心と体を整える修養法なのです。ちなみにヨーガとは「結び付けて整えること」をいいます。例えばサールナートのお釈迦さまの像を見ますと、足を組んで、手で印を結んで瞑想をしていらっしやいます。これもヨーガのポーズです。禅定ももとはヨーガからだとされています。

室外機も大きい！



私たちはヨーガと言えばいろんな難しいポーズを思い浮かべますが、それはエクササイズを目的とした最近の傾向があるようです。本来は呼吸を整え、心を落ち着けること。それもヨーガなのです。

● 寺ヨガ

10月4日(金)

(毎月第一金曜日開催予定)

午後2時～3時

参加費 1500円

どうぞ、お気軽にお越しください！

お問合せ ☎ 046・822・1020

西来寺ホームページでは、去る6月28日の同朋会でおこなわれた「おためし寺ヨガ」の写真もご覧いただけます。